

香川県立ミュージアム

新しい展示が始まります

アート・コレクション

20世紀の美術—あこがれの地を訪ねる

絵画で遊覧。時空を超えて、世界をお散歩してみませんか。

1 会 期 2023年5月16日(火)～7月10日(月)

開館時間： 9:00～17:00

*入館は閉館の30分前まで

休 館 日： 月曜日

臨時休館 6月16日(金)～21日(水)

2 会 場 香川県立ミュージアム(高松市玉藻町5-5)

常設展示室2



平田ゆたか

《昇る陽・ベネチア》1995年

3 内 容 戦後、フランスで暮らし描き続けた木村忠太(1917～1987)、パリに行く途中のアメリカで住み続けることになった猪熊弦一郎(1902～1993)。イタリアにて活躍する平田ゆたか(1944～)、世界の風景を「艶景」と名付けて描いた角卓(1928～1999)など、香川ゆかりの作家たちやヨーロッパの作家の作品を交え、ヨーロッパやアメリカ、世界にあこがれ、描いた作品を紹介します。

4 観 覧 料 一般410円(330円)

* () 内は20名以上の団体料金

*特別展観覧券(2023年5月21日(日)まで)でも鑑賞できます。

*高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方は無料

5 関 連 行 事 ミュージアムトーク(担当学芸員による展示解説)

日時： 5月28日(日)13:30～、6月25日(日)13:30～、7月9日(日)14:30～
各日30分程度

場所： 常設展示室2 *申し込み不要、観覧券が必要

6 展 示 作 品 全10点

■お問い合わせ先

香川県立ミュージアム

[学芸課] 〒760-0030 高松市玉藻町5番5号

TEL (087) 822-0247 FAX (087) 822-0049

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/kmuseum/>



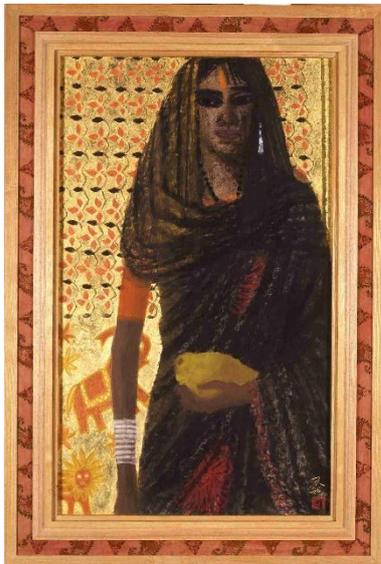
7 主な展示品

木村忠太（きむら ちゅうた 1917～1987）「ヴァンスの風景」1964年 油彩、カンヴァス



香川県香川郡栗林村（現高松市）に生まれ、1953年援助を受けて渡仏し、永住。1970年にはフランスの歴史ある美術団体サロン・ドートンヌの会員となる。1984年にはフランス政府より芸術文化勲章（シュヴァリエ）を受章。この作品は、フランスの南西部ニース近くの避暑地が舞台となっている。

秋野不矩（あきの ふく 1908～2001）「ココナツを持つ女」1990年 紙本彩色



静岡県磐田郡二俣町（現：浜松市天竜区）生まれ。南アルプスの南嶺のふもとに連なる自然豊かな環境に生まれ育った。京都で日本画を学び、戦後まもなく、新しい日本画の創造をめざした「創造美術」（現創画会）の結成に参加。1962年、54歳のときにインドに1年間滞在し、インドの風土に深く魅了され、数々の作品を生み出した。本作はそのひとつ、インドの染織の独特な装飾との美をひきだした。

角 卓（かど たく 1928～1999）「艶景（えんけい）」1996年 油彩、カンヴァス



高松市に生まれ、高松工芸学校、武蔵野美術学校西洋画科を卒業。戦後より神戸に暮らす。1958年に光風会会員となり、後に日展会員。1963年以降、ヨーロッパ各国を歴訪したのをはじめ、韓国、シンガポール、東南アジア、アメリカ、中米を訪ね、各地でさまざまな風土感がにじみでる風景画を描き、艶景と題する。